

第11回応用計量経済学コンファレンス開催のお知らせ

—ミクロ計量経済学の応用—

Call for Papers

論文募集

このたび、大阪大学、東京大学および一橋大学では、ミクロ計量経済学をフレームワークとして研究している大学院生ならびに若手研究者を集め、2日間にわたるワークショップ形式のコンファレンスを開催いたします。比較的少人数の大学院生・研究者が合宿形式で意見を密に交わすことで、ミクロ計量経済学的手法を用いた研究を奨励することが目的です。過去には、以下のような方々に討論していただきました。

討論者(敬称略): 阿部修人、有賀健、依田高典、大山睦、小川一夫、小原美紀、近藤絢子、竹内幹、田中隆一、中嶋亮、野口晴子など

このコンファレンスは、大阪大学社会経済研究所（科研 S <課題番号: 15H05728>）による支援で開催され、発表者及び討論者の参加費用は全額この予算を通じて支給されます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時: 2016年11月12日(土)、13日(日)

12日は13時頃開始とし、13日の解散時間は16時頃を予定しております。全日参加を原則とし、中途の参加退出はやむを得ない事情がない限りご遠慮ください。詳細な日程は決定次第別途お知らせいたします。

会場: 大阪大学中之島センター

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 4-3-53 電話番号: 06-6444-2100

募集分野: 実験データを含むミクロデータを用いた実証研究であれば分野は問いません。

労働経済学、産業組織論、開発経済学、公共経済学、消費や投資、その他どんな分野でも可です。合計7本程度の募集を予定しています。

募集対象: 大学院生、ポスドク・有期契約の研究者

討論形式: 発表者30分程度、討論者10分、全員でのディスカッションを20分程度を予定しております。各論文の討論者は組織委員会で決定いたします。

応募: 締め切り 2016年9月19日(月)

氏名、所属、連絡先、報告タイトルを本文に記し、発表論文をpdfファイルで添付したメールを事務局宛お送り下さい。件名に「応用計量経済学コンファレンス応募論文」とお書きください。報告論文にはJEL Classificationを忘れずに付して下さい。応募者多数の場合、選考によって不採択となる可能性があります。2016年10月3日(月)までに参加者およびプログラムを決定し、参加者には、メール等を通じてご案内いたします。

組織委員会: 市村英彦、大竹文雄、川口大司、神林龍、北村行伸、佐々木勝

事務局: 大阪大学社会経済研究所研究教育支援室 (担当: 大石梓)

E-mail: rcbe-conf@iser.osaka-u.ac.jp

企画、内容に関するお問い合わせは、佐々木(sasaki@econ.osaka-u.ac.jp)、または、菊地(kikuchi@iser.osaka-u.ac.jp)までご連絡下さい。